

# 令和2年度第2回地域振興会議会長会

日 時：令和3年2月8日(月) 13時00分～14時30分(予定)

場 所：鳥取市役所本庁舎 6階 会議室6-8

## — 次 第 —

### 1 開 会

### 2 市長あいさつ

### 3 各地域で重点的に取り組んでいる事項について …P3

#### 【参考資料】

- ・資料1：河原「いきいき国英コミュニティバス（仮称）の運営について」…P5
- ・資料2：用瀬「地域防災力向上の取組」…P8
- ・資料3：鹿野「西日本最大級のハスの里づくり」…P9

### 4 その他

### 5 閉 会

## 令和2年度第2回地域振興会議会長会出席者名簿

### 1. 本庁関係

職名	氏名
市長	深澤義彦

### 2. 各地域振興会議

地域振興会議会名	会長名	支所長名
国府 地域振興会議	森田わか子	岸田和範
福部 地域振興会議	南部敏	平戸伊寿美
河原 地域振興会議	竹田賢一	九鬼栄一
用瀬 地域振興会議	西川功美	片山学
佐治 地域振興会議	小谷繁喜	西尾彰仁
気高 地域振興会議	河根裕二	三谷裕之
鹿野 地域振興会議	小川義和	米田洋子
青谷 地域振興会議	高橋克己	見生孝行

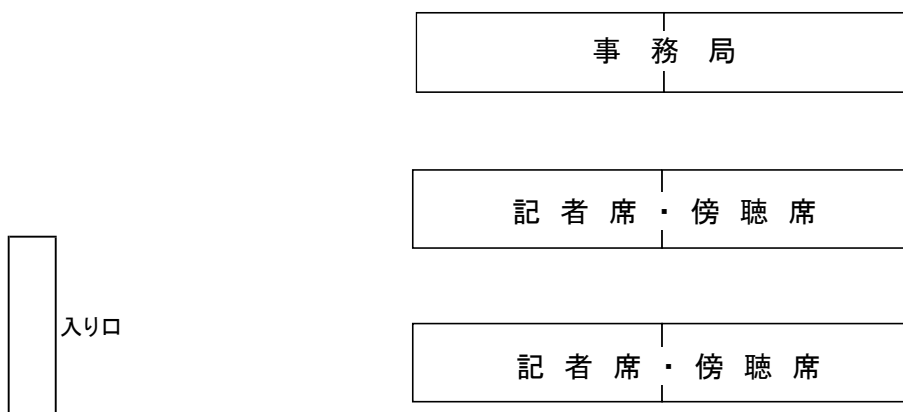
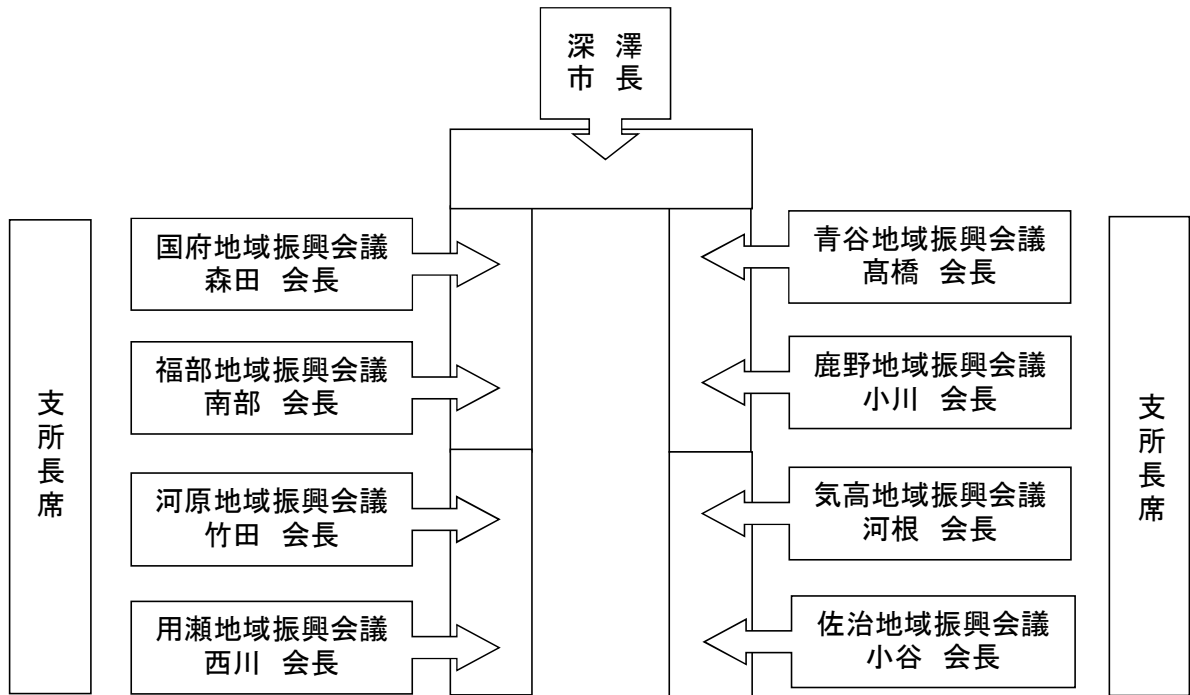
### 3. 事務局（市民生活部地域振興課）

職名	氏名
次長兼課長	田中富治
課長補佐	山名常裕
主事	金森のぞみ

# 令和2年度第2回地域振興会議会長会 配席表

日時: 令和3年2月8日(月) 13時00分～14時30分

場所: 鳥取市役所本庁舎 6階 会議室6-8



## 「各地域で重点的に取り組んでいる事項」について

令和2年度第2回地域振興会議会長会 資料

地域	題目	内容
国府	国府地域における地域資源を活用した取り組み	<p>①谷地区で取り組まれている、「因幡の傘踊り」の創始者である山本徳次郎を顕彰する自主映画作りについて説明する。</p> <p>②フォトコンテストやジオ体験イベントに対する取り組みについて説明する。</p>
福部	公共交通の確保と地域活性化の取り組みについて	<p>①公共交通の確保 福部町内では、日交バスとらっちゃんバス(H20～市社協が運営)が運行しているが、らっちゃんバスについては運転手の高齢化に伴う運転手の確保が課題となっている。今年度、鳥取大学工学部の谷本教授にご協力いただき、町内の中学生以上を対象とした「生活交通に関するアンケート調査」を実施。今後、アンケート結果を参考にし、町内の公共交通のあり方を検討する。</p> <p>②空き家の利活用 平成30年度に建築指導課が実施した空き家調査によると、福部町内には86戸存在している。少子高齢化、人口減少の進化やそれに伴う地域の活力低下が起きており、空き家の利活用による移住者の呼び込みや地域活性化に向けた活用を進めたい。 令和3年度からは、福部町まちづくり協議会と連携して鳥取市移住定住空き家運営業務に取り組む予定としており、砂丘に設置している「お試し定住体験施設」を利用後、福部町内に移住してもらえよう流れを作りたい。</p> <p>③JR福部駅を活用した地域活性化について 福部地域振興会議では、平成29年度に「福部町のまちづくり構想」を策定し、現在、地域振興に資する事業を推進している。その一環として、福部町の中心部にある福部駅を活用した地域活性化策を検討しており、今後の参考とするため今年度、若桜駅、隼駅など先進地視察を行ったり、別途「隼駅を守る会」について話を聞いたりした。 今後、地域資源の活用、団体の育成など地域振興会議でいろいろな視点で、JRなど関係団体と協議しながら具体的な検討を進めていきたい。</p>
河原	「古事記・八上比売」観光活用推進と河原地域公共交通確保の取り組み	<p>①日本最古の歴史書「古事記」に登場し、大国主命と最初に結ばれた八上姫が祀られている売沼(メヌマ)神社(鳥取市河原町曳田)は、「いなばの白うさぎ」の神話に登場する大国主命や白兔にまつわる白兔神社と比べて知名度も低いことから、観光資源としてのブラッシュアップによる地域活性化への取り組みを進めている。 河原町地域では、鳥取商工会議所、鳥取市南商工会が中心となり、神社総代、地区公民館などと連携した観光活用推進協議会を組織し、具体的な取り組み検討を行っている。</p> <p>②河原地域では、地域主体による生活交通確保の取り組みが進められており、国英地区においては、「いきいき国英ふるさとづくり協議会」により、今年度9月、12月に試行運行を実施し、令和3年4月からの本格運行に向けて準備を進めている。 また、散岐地区においても、共助交通にかかるアンケートや説明会を実施し、市有償運送廃止予定時期である令和4年度からの本格運行を目標に運行組織の結成に向けた取り組みを進めている。</p>
用瀬	地域防災力向上の取り組み	<p>①自治会・自主防災会の連携による地域防災力の向上 ・町内会毎の防災マップ(避難スイッチ)の制作</p> <p>②用瀬方式を含めた地域内情報伝達設備整備事業の推進による各種情報の確保</p> <p>③用瀬町における各種防災関連事業の支援 ・防災行政無線デジタル化事業 ・八頭消防署用瀬出張所新築設計業務 ・鳥取市消防団用瀬地区団大村分団格納庫新築工事 ・用瀬中橋(市道用瀬別府線)の撤去に向けた取り組み</p>

## 「各地域で重点的に取り組んでいる事項」について

令和2年度第2回地域振興会議会長会 資料

地域	題目	内容
佐治	将来の地域内交通のあり方検討について	<p>佐治町は人口減少と高齢化が合併新市域の中で突出して進行している地域であり、生活に必要なサービスや機能が縮小・後退していくことが想定される。このため、小さな拠点づくり事業による新たな仕組みづくりを通じて、これからも佐治で住み続けていけることを目指し、令和元年8月末にNPO法人さじ未来が設立され地域助け合い事業などの取り組みを始めた。</p> <p>その中で、佐治町を運行している路線バス、鳥取市有償バスの維持が難しくなっている昨今の状況を踏まえ、令和2年6月に住民の皆さんの普段の移動実態や共助交通などに対するご意見などを把握するアンケート調査及び11月に佐治線の路線バス乗り降り調査を実施し、その結果等を参考にしながら「佐治町生活交通会議」の中でこれからの地域内交通のあり方の検討を行っている。</p> <p>また、市の補助を受け令和2年11月と令和3年1月の2回、通院や買い物利用等を想定した共助交通事業の試験運行を実施し、利用者の意見や要望等を踏まえ、本格運行に向けての参考にする取り組みを行っている。</p>
気高	気高地域4小学校の新設統合	<p>逢坂、瑞穂、宝木、浜村各小学校の統合要望や第14期校区審議会の答申を受け、4小学校の早期統合に向け、市教委と課題の整理・調整等を行っている。</p>
鹿野	西日本最大級のハスの里づくり	<p>まちづくり団体や商工会などで組織する「鹿野心のふるさとづくり委員会」が活動に取り組む。平成20年から住民参加により育て始め、平成25年から休耕田へ植え付け、現在約6反のハス園を整備・管理している。</p>
青谷	青谷地域の生活交通のあり方と地域振興の取組みについて	<p>①生活交通のあり方検討                      青谷町内の日置路線と勝部路線は縮小や廃止の可能性が高い路線となっていることを受け、青谷町地域生活交通協議会をR2年7月に設置し、地域振興会議委員も協議会のメンバーとして参加。第2回(7/22)、第4回(10/22)、第5回(11/25)地域振興会議で、青谷地域の生活交通の現状等について報告、維持・確保の方針など今後の対策について検討していく。</p> <p>②青谷高等学校の地域連携等の活性化支援                      青谷高等学校は、西地域に一つの県立高校として、青谷地域の地域振興に欠くことができないものとなっており、学校の規模存続のため、地域と連携した地域学習や課題探求活動を通じて、学校の魅力づくりに取り組まれている。青谷地域としてもイベントのボランティア参加や青谷の情報発信に大きく貢献していただいております。地域振興会議の会長・委員をはじめ、地域づくり団体、自治連合会並びに西地域3支所長等を委員とする「青谷高等学校活性化を支援する会」を設立して、卓球や地域連携に係る学校の取組を支援している。</p> <p>③青谷上寺地遺跡の史跡整備                      青谷上寺地遺跡の史跡公園整備が、令和2年度からスタートし、令和5年秋の展示・ガイダンス施設及び山陰道南側一帯の「弥生の暮らし体験ひろば」等の開園、令和11年度のグランドオープンに向けて、県により整備が進められることになり、青谷地域におけるまちづくりの大きな契機として、県及び関係団体等と協議しながら、住民の参画による利活用の検討を進める。また、古代山陰道の発掘、北前船寄港地など、歴史資源を生かした、交流人口の増加を図り、賑わい創出に結び付けたい。</p>

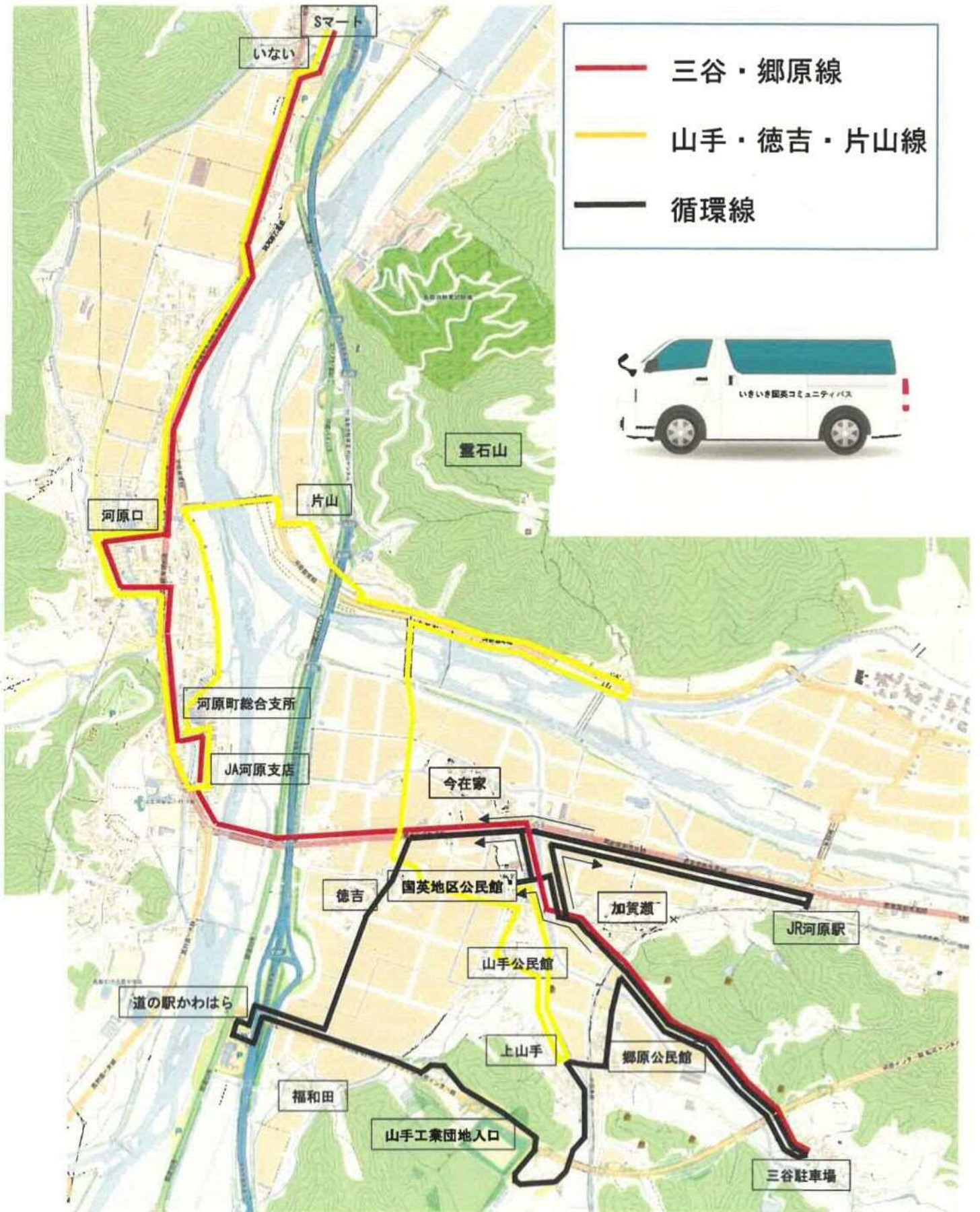
「鳥取市生活交通会議資料」

令和3年1月13日

## いきいき国英コミュニティバス（仮称）の運営について

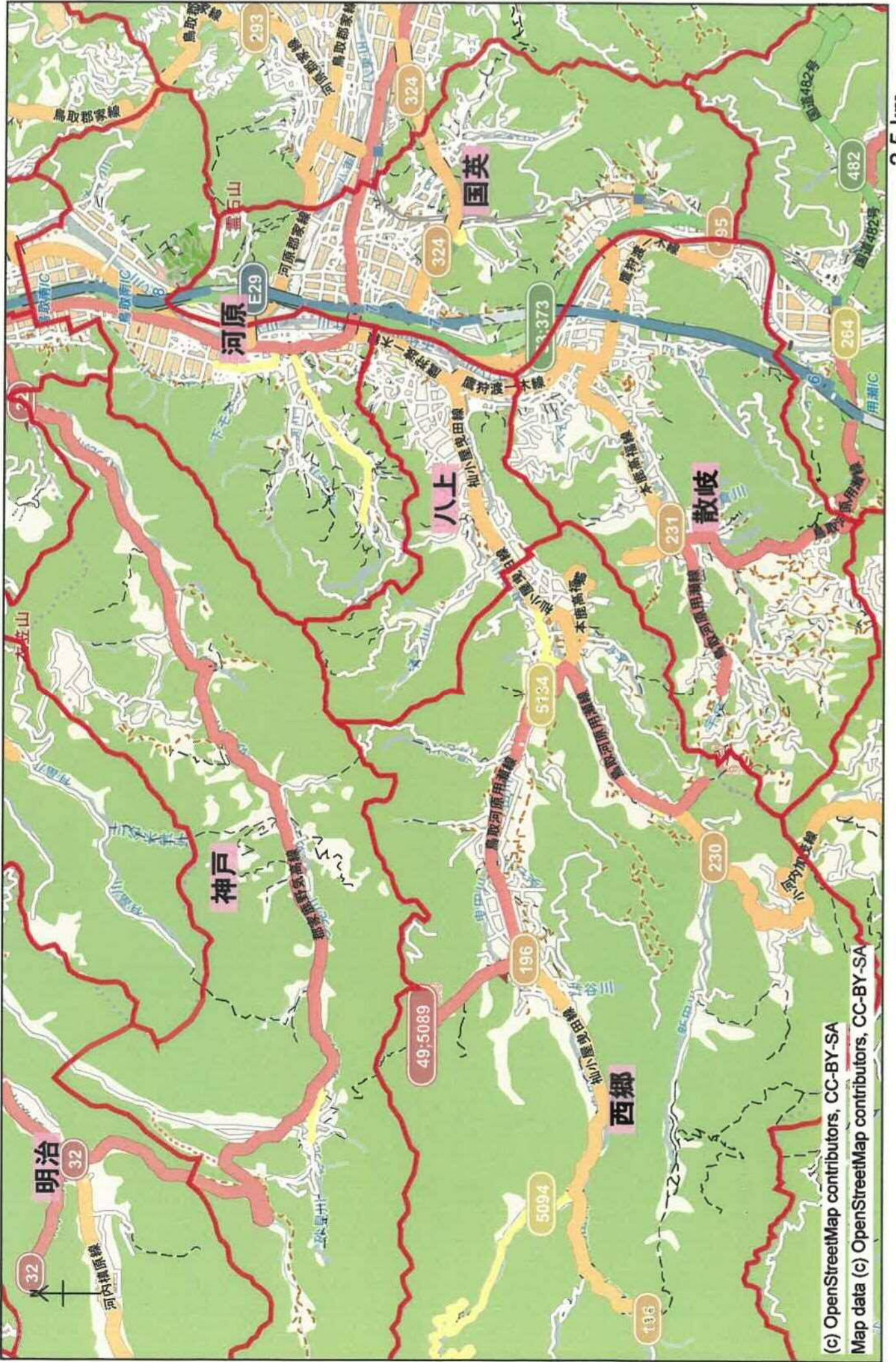
- 1 運営主体 いきいき国英ふるさとづくり協議会  
※ 将来的には NPO への移行を検討する
- 2 運営方法 交通空白地有償運送
  - (1) 運転手 13名予定（令和3年1月中に大臣認定講習を受講予定）
  - (2) 車両について 車両等設備整備事業（鳥取市）を活用  
10人乗り乗用車1台購入予定（令和3年3月後半納車予定）  
10人乗り乗用車1台リース予定（4月以降）
- 3 旅客の範囲  
国英地区の住民及び国英地区に用を有する者及び観光客
- 4 利用者 小学生4名/日、一般210名/月
- 5 運行路線（定期運行） 2路線10便及び循環線4便
  - ①三谷・郷原線3往復（三谷→エスマート→三谷）
  - ②山手・徳吉・片山線2往復（山手→エスマート→山手）
  - ③循環線（国英地区公民館→今在家→徳吉→道の駅→福和田→山手工業団地→上山手→郷原→三谷→加賀瀬→今在家→JR河原駅→国英地区公館）いきいき国英コミュニティバス路線図参照
- 6 運賃 小学生 100円  
大人 200円  
定期券 200円×通学日数（販売対象は小学生のみ）  
回数券 11枚綴りを10枚分の金額で販売
- 7 今後の予定
  - 1月下旬 大臣認定講習
  - 3月上旬 定期券・回数券販売
  - 3月下旬 車両納車（運賃箱の取付け）  
試験運転
  - 4月上旬 運行開始

# いきいき国英コミュニティバス ルート図



- 三谷・郷原線
- 山手・徳吉・片山線
- 循環線





(c) OpenStreetMap contributors, CC-BY-SA  
 Map data (c) OpenStreetMap contributors, CC-BY-SA



## 各地域で重点的に取り組んでいる事項(第2回地域振興会議会長会説明資料)

## ■【用瀬地域】地域防災力向上の取組

項 目	内 容
○自治会・自主防災会の連携による地域防災力の向上	○町内会毎の防災マップ（避難スイッチ）の作成 危機管理課の防災マップ作成支援メニュー等を活用して、用瀬町自治会長会・地区自主防災会連絡協議会が主体で令和元・2年度で用瀬町版防災マップ「避難スイッチ」の印刷製本を行い、用瀬町全戸配布を完了。 町内会で事前に吟味した避難場所、避難経路、危険箇所等を盛り込んだ町内会毎の防災マップを添付。
○用瀬方式を含めた地域内情報伝達設備整備事業の推進による各種情報の確保	○これまでの防災行政無線はデジタル化のため令和3年2月より使用できなくなることより、令和元・2年度に用瀬町自治会長会が主体で地元説明に出向くなど、集落内の防災情報も含めた地域情報を確保するため、用瀬方式を含めた地域内情報伝達設備整備事業を推進。 ・令和3年1月までに30集落中、28集落が整備事業を活用し、地域内情報伝達設備の整備を完了。
○用瀬町における各種防災関連事業の支援	○用瀬町内で今年度行われた各種防災関連事業において、総合支所と連携して、地域振興会議や自治会長会での事前説明等、地元調整に関わることによる事業の推進支援。 ・防災行政無線デジタル化事業 ・八頭消防署用瀬出張所新築設計業務 ・市消防団用瀬地区団大村分団消防格納庫新築工事 ・用瀬中橋（市道用瀬別府線）の撤去に向けた取組

## 鹿野町の取組【西日本最大級のハスの里づくり】

### ■ 事業に至る経緯 1

**平**成19年頃、鳥取大学農学部、田辺賢二名誉教授は退官を控え、中国人留学生と共にハスの遺伝子研究用に栽培していた多様な種類のハスの引受先を探しておられた。

**N**PO法人「いんしゅう鹿野まちづくり協議会」にもお声掛けがあり「気品があり優雅なハスの花は、城下町鹿野にふさわしい。世界中のハスを鹿野で見ることができると夢がある」と、受け入れを快諾。同協議会も構成メンバーである地域活性化団体「鹿野心のふるさとづくり委員会」（原幸雄会長）が、平成20年3月、鳥取大学から195株のハスの花を鹿野へ運搬した。

**平**成20年3月、鹿野心のふるさとづくり委員会 の呼びかけに応じた住民約100名が参加して、「親株」195株のハスの株分け作業を行い、「子株」は、参加住民が持ち帰り「里親」として育ててもらうことにした。また、親株は鹿野心のふるさとづくり委員会が旧鹿野小学校プールで管理することとした。

**同**プールで管理している鉢植えの親株は、伸び伸びと蓮根を生育させるため、3年ごとに株分け・植え替えする必要があり、毎年3月頃に同委員会が住民ボランティアと作業を行っている。その際に生まれる貴重な子株を活用しようと、平成25年から鹿野城下町地区周辺の休耕田に植え付けを始めた。

**鹿**野心のふるさとづくり委員会では、「西日本最大級のハスの里」づくりをめざし、昨年6月、新たに鹿野町総合支所前の休耕田約1500㎡にハスを植え付けし、現在、鹿野町総合支所前に約6000㎡、鳥の劇場横に約300㎡のハス園を整備している。

1

### ■ 事業の概要

事業主体：心のふるさとづくり委員会

構成メンバー：各地区まちづくり協議会/株ふるさと鹿野/NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会/街なみ協定委員会連合会/文化団体連絡協議会/鳥取西商工会青年部・女性部/鳥の劇場/ぷらっとしかのガイドの会/鹿野地域活性化委員会/あかり本願衆/城山まもりたい/有識者

事務局：鹿野町総合支所地域振興課

令和2年度予算：540千円

肥料、除草剤、防草シートなどの  
消耗品/耕運などの委託料/看板  
設置委託料

※休耕田は無償で借り受け



2

## 作業内容

- 4月 除草剤の散布2回/ハス田へ水入れ、水量チェック、排水確認
- 5月 ハス田の代掻き/ハスと菖蒲の植え付け/草刈り/殺虫剤散布/肥料散布
- 6月 除草/肥料散布/案内看板の設置/草刈り
- 7月 肥料散布/除草/草刈り
- 9月 案内看板の撤去/草刈り/水路の堰の撤去



3

## 鹿野 ハスの里開花情報

2020年6月29日 11時現在  
 ●天候・・・・・・ 晴天  
 ●開花状況・・・・ 咲きはじめ 三分咲き  
 ●場所・・・・・・ 鹿野町総合支所前



▶ハスの開花状況を本市公式ウェブサイトで開催期間中更新。

▶来町者を城下町へ誘導する仕組みとして、ハスの花写真展を往来交流館董里夢で同時開催した（7/6～8/30）。

▶「多くの方々がハス畑で写真を撮っているが、鹿野のハスと分かるような工夫をしてほしい」との市民の声を受け、写真撮影スポット用のPR看板を設置した。

▶毎年開催している「蓮ウォーク」は新型コロナウイルス感染対策のため中止した。



メディア：日本海新聞/読売新聞/山陰放送/FM鳥取/日本海ケーブル/JRおでかけネット/じゃらんネット

4